

ともに

Tomoni (Ensemble)

パリ日本人カトリック
クセンター通信
2017年12月号
(年間20ユーロ 20 euros)

Centre Catholique Japonais de Paris
4 Bld Édgar Quinet 75014 Paris Métro : Raspail / Tél :
09 53 86 74 29
開館日 : 火・木 16:00-19:00 / 土 14:00-19:00
Ouvert mardi, jeudi 16:00-19:00 / samedi 14:00-19:00
<http://www.paris-catholique-japonais.com>
E-mail : tomoni.paris.catholique@gmail.com

Décembre (2017)

十二月 (2017年)

Décembre : Les branches dépouillées de feuilles
dessinent sur le ciel
d'incroyables dentelles.
La nuit vient très vite, le soir, il fait sombre...
Et pourtant, tout là-bas,
une lumière nous appelle : Noël !
Et voici que nos espoirs se réveillent
Nous allons, avec les bergers
vers ce Petit Enfant merveilleux
couché au chaud dans une bergerie
Nous le savons
porteur d'un amour sans limites
Plus fort que toutes nos misères
Enfant de Dieu !
Et qui nous donne, à nous qui l'avons découvert
"pouvoir de devenir, en Lui,
Enfants de Dieu " (Jean 1 : 12)
"et nous le sommes" (1 Jean 3 : 1)
(Sœur Marie- Hélène)

12月：葉を落とした木々の枝は
目を疑うようなレース模様を
空に描く
夜が早く来て、夕方はうす暗い…
しかし、あの向こうの方で、
光が我々を呼んでいる：ノエル！
そして今我々の希望がよみがえる
行きましょう、羊飼いと共に
馬小屋の中で温かく眠っている
素晴らしい驚くべき小さな子供のもとへ
我々はこの子が
限りない愛をもたらす方だと知っている
我々の全ての惨めさを凌いで強い
神の子！
この方を知り受け入れた我々に
"彼の内にあって、神の子達となる資格
を与えて下さる" (ヨハネ 1 : 12)
"私達は神の子と呼ばれるほどで、
事実その通りです" (ヨハネの第1の手紙 3 : 1)
(シスター マリー・エレース)

今月の日本語ミサと黙想会 Messe en japonais et le temps fort de l'Avent

12月10日(日) 午前10時半より、外国人カトリック共同体の司牧者であるランボー司教代理によるミサがセンターで執り行われます。ミサの中で、ジャーノ正子さんに堅信の秘跡が与えられます。また今回は待降節のため、黙想会を行いたいと思います。ミサの後、正子さんの堅信を祝って司教代理を囲んで乾杯します。お昼は持ち寄りのお弁当か、各自で食べに行ってください。午後1時半より、湯沢慎太郎による黙想会の導入とお祈り。

午後2時より、映画「沈黙」(日本語字幕 遠藤周作原作)の上映。2時間40分間。

映画終了後、すぐに分かち合い、そして終わりのお祈り。*大体午後6時には終わりたいと思います。

皆様のご参加をお待ちしております。

La messe en japonais sera célébrée le dimanche 10 décembre à 10h30 par Monseigneur Xavier Rambaud, le vicaire épiscopal auprès des communautés catholiques étrangères au Centre Catholique Japonais de Paris.

Au cours de la messe, le sacrement de confirmation sera donné à Madame Jeannaux Masako. Après la messe, pour préparer nos cœurs en ce temps de l'Avent, nous vous proposons de voir le film SILENCE (162 mn. Version originale sous-titrée japonaise) d'après le roman de Shūsaku Endō.

Après la messe, partageons un verre d'amitié autour de Monseigneur Rambaud pour fêter la confirmation de Mme Jeannaux. Chacun prendra son pique-nique sur place. A 13h30, il y aura l'introduction par Shintaro YUZAWA et la prière. Le film sera projeté à 14h. Après la projection du film, il y aura un partage libre autour du film et la prière finale. Le temps fort se terminera vers 18h.



センター維持費のお願い

センターは国家からも、ヴァチカンからも助成金を受けていません。

センターが福音宣教の活動を続けられるのは、ひとえに皆様の寛大な支援のお陰です。

どうかセンター維持費をお届けください。宜しくお願い申し上げます。

☆ 小切手の支払い先は « **Centre Catholique Japonais de Paris - ADP** »です。寄付額の66パーセントが所得税から控除されます。教区から免税証明書が郵送されます。(ADP = Association Diocésaine de Paris パリ教区法人) ☆

Demande du denier de l'Eglise

Le Centre ne reçoit aucune subvention ni de l'État, ni du Vatican.

C'est grâce à vos soutiens généreux que nous pouvons continuer notre mission d'évangélisation.

Nous vous en remercions. Le denier de culte est à adresser au Centre.

☆ *Merci de libeller votre chèque à l'ordre de « **Centre Catholique Japonais de Paris -ADP** ». Vous pouvez déduire de votre impôt sur le revenu 66% de votre contribution au Denier. Vous recevrez un reçu fiscal.(ADP = Association Diocésaine de Paris)* ☆



バザー準備

1 1月30日(木)午後2時～5時

1 2月 1日(金)午後2時～5時

2日(土)午前10時～午後5時

* 上記の時間帯に、会場準備、荷物の受け取り、配分、配置等を致します。

バザー当日

1 2月3日(日)昼の12時～午後5時まで

* 当日は、午前10時よりセンターを開けます。

宜しくお願い申し上げます。

Notre braderie de Noël se tiendra le dimanche 3 décembre de 12h à 17h.

La réception des objets à vendre et la préparation de la braderie se fera selon l'horaire suivante :

Le jeudi 30 novembre : 14h-17h

Le vendredi 1^{er} décembre : 14h-17h

Le samedi 2 décembre : 10h-17h

Le dimanche 3 : Ouverture du Centre à 10h pour préparation.

Centre Catholique Japonais de Paris

Braderie de Noël
クリスマス バザー

Pour la mission de l'aumônerie catholique japonaise

Le dimanche 3 décembre 2017 12h à 17h

Buffet et salon de thé
Boissons : thé, café,
Sucré : gâteaux
Salé : sushi, onigiri (boulettes de riz),
Vente d'articles japonais et articles divers

飲み物:お茶、コーヒー、菓子、
寿司、おにぎり、日本食品
和の小物、千代紙人形、手作り製品、
衣類、おもちゃ、日用雑貨、etc

4, Bld Edgar Quinet 75014 Paris
Métro: Raspail, Edgar Quinet
09 53 86 74 29

Entrée libre

来年(2018年)の日本語ミサ予定 Messes prévues de l'année prochaine (2018)

2018年1月28日(日)午後4時より、センターにて大塚乾隆神父司式。

La messe sera célébrée le dimanche 28 janvier 2018 à 16h au Centre par le Père Kenryu Ôtsuka.

Duo guitare et voix

Matteo Contaldi et Marlen Mendoza-Kahn



クリスマス会 Fête de Noël



12月17日(日)午後3時より、クリスマス会を致します。(会場準備のため、午後2時からセンターは開けます。)

今回は趣向を変えて、ミニコンサートも致します(入場無料)。いつものように、デザートやおつまみを持ってきてくださると助かります。

<メニュー>

午後3時より、ミニコンサートの開始 * 大体40分間ぐらいです。

* Matteo Contaldi (ギター) Marlen Mendoza-Khan (ソプラノ)

* 演目: « Espagne autour de Noël » : Musiques de Manuel de Falla, F. Schubert, etc.

その後、会場を移動し(窓のある部屋)、クレーシユを囲んで皆様でクリスマスの歌をうたいましょう。歌の後に、歓談しながらお茶としましょう。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

La fête de Noël le dimanche 17 décembre de 15h à 17h. Cette année, nous organisons une fête de Noël musicale, avec un récital de Duo guitare et voix Matteo Contaldi et Marlen Mendoza-Khan. Le récital

« Espagne autour de Noël » avec musiques de Manuel de Falla, F. Schubert, etc. commence à 15h pour un programme d'environ 40 mn (entrée gratuite – libre participation aux frais). Après le récital, nous allons chanter ensemble les chants de Noël autour de la crèche. Ensuite, nous vous invitons à prendre un goûter. Je vous invite à venir nombreux, avec votre famille et vos amis, pour fêter ensemble le Noël !



上映会「沈黙」12月10日(日) 14時 ~ 16時40分

Projection de « SILENCE » le dimanche 10 décembre de 14h à 16h30 au Centre.

遠藤周作の小説「沈黙」をマーティン・スコセッシが三十年かけて映画化。17世紀の日本におけるキリシタン弾圧の現実をポルトガル人の宣教師の目を通して描く。日本文化におけるキリスト教の難しさを徹底的に描いた傑作です。(日本語字幕 162分) 入場無料。

Martin Scorsese a mis près de 30 ans pour porter à l'écran le roman SILENCE de Shûsaku Endô. Le film montre la réalité de la persécution des chrétiens japonais au 17^{ème} siècle à travers le regard d'un missionnaire portugais, et questionne la difficulté de la transmission du christianisme dans la culture japonaise. (version originale sous-titrée japonais. 162mn) Entrée gratuite.

故ピエール赤松淑郎氏に捧ぐ

いつの日か別るるものと知りながら

かくも悲しき鶴去りゆけば

11月12日の朝ピエール赤松淑郎氏が、6日(木)に93才の長寿で永眠されたことを知った。ああ遂に…一瞬、鶴のように長身瘦躯でやさしいまなざしの面影が脳裡をよぎり、悲しさがこみ上げてきた。夜半から降り続く雨はこの知らせの前兆だったのか。万聖節に始まる11月は死者に捧げられ、その日のミサも今年相ついで亡くなられたパリ日本人カトリックセンター創立の恩人たちを偲ぶものだったが、思いがけず赤松氏の名が加わり、一同を驚かせたのである。家に戻ってから御遺族にお悔やみの電話をかけた。アンヌ・マリ未亡人のお話では、御自宅のベッドで夫人やお子様、お孫様たちに囲まれ安らかに息を引きとられたという。「本人の希望で病院ではなく自宅で」とその言葉に力をこめ、続けて「主人は満足して逝ったことと思います」と声がかすれた。人間としてこのように幸せな最期があるだろうか。すべてを全うし、皆に惜しまれつつ赤松氏は旅立たれたのである。

それ程までに慕われ、今は故人となられた方の人柄とはどのようなものだったのであろうか？「誠実」の一言に尽きよう。不安に満ち、はじめてパリの土を踏んだ日本人で赤松氏と出会いお世話になった人は多いと聞く。その中の数人は帰国後感謝をこめて懐かしそうに氏の思い出を書いておられる。私もその恩恵を受けた一人だが、この大人物について知ることはごく少ない。謙虚な赤松氏のご自分のことを余り語られなかったからである。かくれた善行の数々が折にふれ明らかにされ、人々は新たに感じ入るのである。

ここで僭越ながら御本人に接し、交わした会話を通じて私の知り得た範囲で、赤松氏のプロフィールを述べてみたい。

周知の如く赤松氏は哲学者の日本人を父に、文学専攻のフランス人女性を母として生まれた日仏混血児である。御両親はご尊父のパリ留学時代に結ばれ、その後日本に住まわれた。御実家は京都の仏光寺と伺っている。赤松家の子供たちは、外では日本語、家ではフランス語の生活だったそうだ。「それはフランス人の母に対する父の思いやりだったのでしょう」話が小学校時代に及び、偶然私の母校 東京西片町の誠之小学校の大先輩であることがわかった。「でもそのあと転校したので卒業まではいませんでしたけどね」多分暁星小学校に移られ中学へと進まれたからであろう。教育は東京で受けられたようだ。その中に第二次世界大戦が始まった。この暗黒時代のことについて氏は口を噤んでおられる。戦時中敵国となったフランス人女性を妻とした日本人家庭の立場はほぼ想像できよう。御苦労も多かったことであろう。平和が戻り、赤松氏は一時日本の文部省に勤められた。未亡人となられた母堂は二人のご子息を伴い、1948年フランスに帰国された。氏は当時20代はじめの青年だった。

パリで母堂はかの有名な物理学者キューリー夫妻の娘夫婦の研究実験室で働きながら生活を支えられた。当時パリ在住の日本人物理学者、湯浅年子氏は後年自叙伝の中で述懐しておられる。「赤松未亡人はラボ(実験室)で働きながら二人の御子様を立派に上品に育てあげられた」赤松氏の就職が決まり、アンヌ・マリ夫人と

の間に4人のお子様生まれ、幸福な家庭が築かれた。敬虔なカトリック信徒の氏はそれだけに留まっていなかった。フランス人有志と在住外国人との友好会 Cercle St Jean-Baptiste の日本部会世話役としてボランティア活動を始められたのである。日仏の血をひき、両国の文化と言語に通じた赤松氏はまさにこの仕事の適任者で貴重な存在だったに違いない。それだけに責任も負担も重かったことであろう。本職の勤めも多忙の上、まだ幼い子供たちを抱えながらよく両立されたものと思う。その陰にはよき伴侶たる夫人の理解と献身的な協力があつたことは云うまでもない。

他の部会が色々な理由で活動の停滞していく中で、存続したのは赤松氏担当の日本部会だけとなった。フランス人協力者たちが亡くなったり病氣したりして、実質的には氏が企画から月々のプログラム発送まで一手に引き受けられたのである。親日フランス人とすべての日本人に門戸が開かれていた活動の中には、パリ市内の教会や史跡見学だけでなく週末にはバス旅行によるフランスの教会、修道院や史跡めぐりがあり、「赤松旅行会」として親しまれ、多くの参加者を集めた。一般の観光バス旅行と異なり、単なる各地方の風景、史跡、風物、名産品見物に終わらず、それよりもっと広範囲にわたり密度の高いもので、赤松氏個人の発する温かみに包まれていた。

バスに乗り込むと運転手の隣のガイド席に座り、マイク片手に「モシモシ」で始まるあの呼びかけの声を覚えている方は多いであろう。該博な知識の持ち主である氏の説明は微にわたり、必ず「参考文献資料」も持参された。いわば野外の大学講義のようなもので、熱心にノートする「学生」たちもいた。フランス人参加者のために氏は一々同時通訳もされたのだった。ひときわ背の高い赤松氏は健脚だった。一行の落ちこぼれや迷子拾い集めるのは夫人の役だった。誠に息の合った御夫婦といえよう。氏は「ここまでやってこられたのはアンヌ・マリの協力があつたからです」と夫人を労う言葉も忘れなかった。帰りのバスの中でも氏は一人々に声をかけられ、出発の時の知らない同志が別れる時は大きな一つの家族となつていた。

数年前、私たちが催した赤松氏のボランティア活動50周年記念祝賀会の席上で、御自分がこの道にはいら

れた動機について語られたことがある。「自分と関わりのある日仏両国に、何か少しでも役立つことをしたいと思ったのです」その小さな輪は広がり、日仏にかかる大きな美しい虹の橋となった。虹の橋桁をエンジニアの精密さでしっかりと架け渡したのが赤松氏であつた。一方旅は続いていた。

体力的に野外の旅行が無理と自覚された氏は、屋内の旅行に切り換えられた。つまりカトリックセンターでの「フランスの教会を訪れて」講演シリーズである。長年の旅行会で撮られた膨大なスライドや写真のコレクションの他、文献資料や力学的説明の為自作の教会天井部の木製模型も持参された。会場も何時も聴衆で満員だった。私たちはその続きを楽しみに待った。だが今年に入ってから休講が続き、突然杜絶えたのである。

紫木蘭俳句会 自選句	
朝霧や煙突の群むらさきに	はる子
ベランダで猫とたわむれ小春かな	久枝
突風に転げつまろびつ落ち葉馳せ	美那子
凧や我が庭の花萎れさせ	ピエール
墓洗ふ男の背中の小春かな	正子
冬めきてココアの缶を探す朝	佐智子
土のうえ黄色の落ち葉角たてて	まこ

他人への奉仕に生涯の大部分を捧げ、人間の生き方を身を以って教えて下さった赤松氏は逝かれた。消えることのない灯を私たちの胸に伝えて。その灯を大切に守り周囲の人々や次の世代まで及ぼしていくように、というのが私たちへ残された氏の最後のメッセージではなからうか。

ピエール赤松淑郎様 長い間ありがとうございました。

心から御冥福をお祈りします。

(ドベルグ美那子)

12月の定期活動 / Les activités en décembre

年末年始の閉館(fermeture du Centre) : 12月24日(日)~1月3日(水)

キリスト教入門 Connaître le christianisme	湯沢慎太郎 M. Shintaro YUZAWA	木曜日 14日と21日 17:30 - 19:30 Jeudi le 14 et le 21 17:30 - 19:30
子供のための公教要理クラス Catéchisme pour les enfants	小華和文子 Mme Fumiko KOHANAWA	土曜日 14:30 - 16:00 Samedi 14:30 - 16:00
ルカ福音書通読 Lecture continue de l'Évangile selon Saint Luc	湯沢慎太郎 M. Shintaro YUZAWA	土曜日 2日、16日、23日 16:00 - 18:00 Samedi le 2, le 16 et le 23 16:00 - 18:00
カトリックセンターの窓口 Permanence-Accueil	湯沢慎太郎 M. Shintaro YUZAWA	土曜日 14:00 - 16:00 Samedi 14:00 - 16:00
野のゆりの会 Le lys des champs	門田律子 Mme Ritsuko KADOTA	9日(土) 14:00 - 16:00 Samedi 9 14:00 - 16:00
新しい人 Esprit Nouveau	湯沢慎太郎 Shintaro YUZAWA	今月はお休みします。 Pas d'activité ce mois-ci.
新聞を読む会 Apprendre à lire le journal	M. Geoffroy DU PLESSIS	火曜日 17:30 - 18:45 Mardi 17:30 - 18:45
生け花教室 Décoration florale	湯沢佐智子 Mme Sachiko YUZAWA	14日(木) 17:30 - 19:00 Jeudi 14 17:30 - 19:00
絵画教室 Cours de peinture	佐々木真紀子 Mme Makiko SASAKI	7日と21日(木) 17:30 - 19:30 Jeudi 7 et 21 17:30 - 19:30
俳句の会 「紫木蘭」 Cercle de Haïku 「Simokuren」	牧はる子 Mme Haruko MAKI	19日(火) 15:00 - 18:00 Mardi 19 15:00 - 18:00
手芸教室 Atelier Maki	佐々木真紀子 Mme Makiko SASAKI	15日(金) 17:00 - 19:00 Vendredi 15 17:00 - 19:00 *千代紙人形-材料はこちらで用意します。
リクール読書会 Lire Paul Ricoeur : <i>La mémoire, l'histoire, l'oubli</i>	湯沢慎太郎 M. Shintaro YUZAWA	今月はお休みします。 Pas d'activité ce mois-ci.

センターの掃除とミサのための会場準備は、9日(土)午前10時半からとします。

皆様のたくさんのご協力を募りたいと思います。よろしく願い申し上げます。

Le ménage du Centre sera fait le samedi 9 à 10h30. Merci de bien vouloir y participer.